県政報告　2024年 夏号 vol.4

信じられる未来へ
～ believe in future ～

奈良県議会議員
無所属　御所市選出

かわぐち しん
川口 信

●2023年度を振り返って

皆様、日頃より議員活動にご理解、ご協力をいただきまして心より感謝申し上げます。初当選させていただいてから、あっという間の1年間でしたが、山下知事が打ち出される県政方針について、会派一丸となって精査を進めてまいりました。12月定例県議会で一般質問しました御所IC工業団地の整備や近鉄御所・JR御所駅の周辺整備について、少しずつ前進しており、今後も県と市が一体となって事業を進めてまいります。

しかし、広域防災拠点整備（五條市）やスポーツ施設整備（橿原市）、中央卸売市場再整備（大和郡山市）など、見通しが立っていない事業もございますので、2024年度には一定の方向性が決定できるよう、尽力してまいります。今後とも更なるご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

12月定例県議会での一般質問まとめ

議員活動について

<県外視察について>

2月28日に兵庫県内「兵庫県災害対策センター」「三木総合防災公園」を視察し、他県での広域防災体制について知識を深めました。兵庫県では1995年に発災した阪神淡路大震災を教訓とし、関西圏での災害発生時の中心拠点として防災拠点が整備されております。昨年視察しました福岡県、熊本県も含めた他県の事例や防災体制を参考にし、奈良県全体としての防災体制構築を検討していきます。

<ヒューライツ議員団青年局発足>

昨年、ヒューライツ議員団の中で青年局が発足しました。超党派の若手議員や議員歴が浅いメンバーが集まり、基礎的な内容を含めた人権課題に取り組んでおります。第1回研修会として、水平社博物館の見学、ヘイトスピーチ条例に関する勉強会、意見交換会を実施しました。引き続き、幅広い人権課題に取り組んでまいります。

<その他の取り組み>

・金剛葛城駅伝に参加
・御所市防災交流館落成式に参加
・女と男のつどいに参加
・個別相談対応など

金剛葛城駅伝6区を走りました

大同薬品工業㈱より、御所市に寄付をいただきました

御所市防災交流館がオープン

日頃の街頭活動

プロフィール

1989年2月27日　御所市大字柏原 生まれ
2001年 御所市立掖上小学校 卒業
2004年 智辯学園中学校 卒業
2007年 智辯学園高等学校 卒業
2011年 早稲田大学 先進理工学部 卒業

所属
奈良県中小企業連合会 理事
こふれ21（企業連・中企連若手経営者の会）
一般社団法人 橿原青年会議所（JCI橿原）
一般社団法人 奈良県軟式野球連盟 副会長
ダイドードリンコ杯少年野球大会 会長

各種SNSで情報発信中です

川口信事務所　〒639-2244 奈良県御所市大字柏原273番地　TEL.0745-62-0123　FAX.0745-62-5511

2023年度2月補正予算について

12月補正予算に引き続き、国の経済対策にかかる補正予算を活用して物価高への緊急対策や地域デジタル化などに積極的に取り組んでまいります。

2 月補正予算の概要はこちら ▶

2024年度一般会計予算案の審議について

2月定例県議会にて初当選後、初めての新年度予算案に関する審議が行われました。2024年度一般会計予算案については、山下知事から提出された原案の一部修正を求め、私が所属する自由民主党・無所属の会から防災体制の整備や、新アリーナ整備検討に関する修正予算案を提出しました。県民の皆様から多数いただきました意見を反映した修正予算案が賛成多数で可決されたことを受けて、各事業の課題に真摯に向き合い、**「傾聴と協調」**の奈良県政を実現するべく、是々非々の立場で責任と使命を果たしてまいります。

議員別の議案等に対する表決結果はこちら ▼

修正予算案について

山下知事から提出された原案から、一部修正した修正予算案(自由民主党・無所属の会から提出)の主な要点は以下の通りです。

1 消防学校移転事業を防災拠点整備との一体整備を含めて、再度検討する。

➡ 宇陀市にある消防学校について、老朽化が進んでいることや敷地面積が近畿府県の中で最も狭い等の理由により、**旧高田東高等学校に移転する方針が発表されておりましたが、防災拠点との一体整備を含めて再検討することを求めました。**旧高田東高等学校は浸水想定区域となっており、浸水すると消防学校の資機材が活用できない可能性や防災拠点との距離が離れていると災害時の応援部隊との機敏な連携が困難になると推察されます。また、2012年に消防庁が示した資料には、災害時に消防学校の資機材を使うことは有用であると示されております。よって、消防学校は奈良県の消防力とともに防災力を強化する重要な施設であり、防災拠点整備と一体で整備を図ることが望ましいと考えております。

2 有識者等の意見をヒアリングし、五條市と橿原市を中心として県全体の防災体制をゼロベースで総合的に検討する。

➡ 五條市において大規模防災拠点を整備する予定であった県有地に、1haのヘリポート、数ha の防災倉庫などの防災機能、および25ha前後の巨大な「メガソーラー」を設置し、災害時に可搬型蓄電池等を活用する方針が山下知事より打ち出されました。突然発表された新たな方針では、具体的な防災機能やメガソーラー以外の県有地活用方法について、県庁内や有識者等との十分な議論がなされておらず、山下知事の独断で判断したと言わざるを得ません。**山下知事から示された新たな方針(メガソーラー設置等)をゼロベースとし、有識者等の意見を踏まえ、県全体の防災体制について再検討することを求めました。**

3 橿原公苑整備事業について、新アリーナに必要な機能を備える規模の施設整備を進めるため、橿原公苑以外の県有地の活用も含めて検討する。

➡ 山下知事は、就任直後の事業見直しにより、2031年開催予定の ※「国スポ」に向けては、施設を新設するのではなく、既存施設を有効活用することを基本とし、大会後の有効活用も見据えて、競技環境向上に必要な修繕や改修を実施するとの方針を示されました。国スポ開催に向けましては2024年度中にすべての会場選定を行う必要があり、3つの機能を兼ねることに伴って、新アリーナの規模が大きくなった場合にはその一部の機能を切り離すことや、橿原公苑第一体育館・第二体育館の敷地以外の県有地の活用も検討していく必要があります。**新たに建設する新アリーナについては、スポーツ・文化・防災の3つの視点と利用者目線や市場ニーズに合った規模を多角的に検討し、既存施設だけではなく、県有地を活用した新アリーナ適地検討を行うことを求めました。**

※ 1946年に始まった国内最大のスポーツの祭典「国民体育大会(国体)」は、「スポーツ基本法の一部を改正する法律」の施行に伴い、今年10月に佐賀県で開催される第78回大会から名称が「国民スポーツ大会(国スポ)」に変更されます。

2024年度奈良県一般会計予算に対する修正案の詳細はこちら ▶

2024年度一般会計予算における新たな取り組み

2024年度予算については、山下知事が就任されてから初めての予算編成となっており、教育や人権、道路整備等に関して、新しい取り組みが開始されますので、一部を紹介します。

【県民や事業者の安心と暮らしの責任】

暮らし

▶発達障碍児(者)のさらなる支援の構築

2023年度に比べ、発達障碍児(者)の支援に対する予算は約2倍計上されており、新たな取り組みとして早期に適切な支援に繋がる仕組みの構築、地域との支援体制整備の促進を行います。

▶奈良県パートナーシップ制度の導入

性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性が尊重され、全ての人が自分らしく生きることができる社会の実現を目指し、様々な性的指向やジェンダーアイデンティティの人たちの生活上の障壁をなくすため、4月1日から「奈良県パートナーシップ制度」が導入されました。

【奈良県の子ども、若者の未来への責任】

子ども

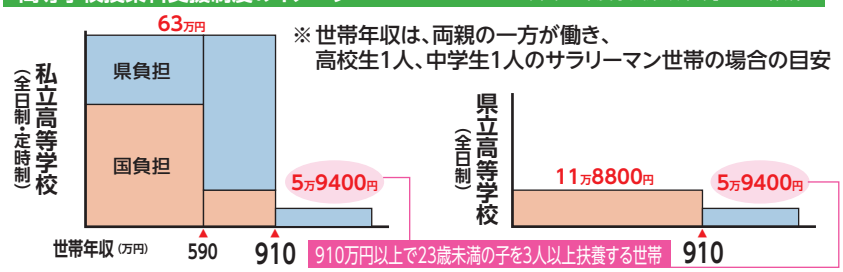
▶保育士給与改善の市町村に対する補助制度

保育人材の確保・定着のため、民間保育所等における常勤保育士等の処遇改善(給与加算)に取り組む市町村に対し、補助を実施します。**御所市においても、本取り組みを活用いただけるよう、県・市で連携します。**

▶高等学校授業料等の支援制度拡充

県内に保護者が在住し、子どもが県内の高等学校等に通う世帯に対し、支援を行います。※**「世帯年収」に応じた高校授業料等(私立高校等を含む)の実質的な無償化**を行います。

高等学校授業料支援制度のイメージ　「令和6年度奈良県政策集」を基に作成



▶子ども医療費助成の拡充

現金給付方式の対象を小学生以上に拡大し、高校生までの助成を継続実施します。

【豊かで活力ある奈良県を作る責任】

南部地域

▶奥大和地域の自然を活用したアウトドア・スポーツツーリズムの推進(南部地域の振興施策)

【3つの責任を果たすために】

道路工事

▶ならの道リフレッシュプロジェクト

2024~2029年の5年間で、快適な道路空間を提供するために道路の計画的な維持管理(舗装の耐久性向上、区画線の維持修繕、草刈りのメリハリ化)を行います。

①舗装の耐久性向上
- 大型車交通量の多い主要道路を中心に、損傷度に応じた適切な県管理道路の舗装修繕を実施

②区画線の維持修繕(視認性の向上)
- 大型車交通量の多い道路を中心に、県管理道路の区画線補修を実施(パトロール発見箇所や通報箇所に加え、ドライブレコーダー画像を用いて損傷具合を確認し、区画線補修を実施)

③草刈りのメリハリ化(不快感の軽減)
- 大型車交通量の多い主要道路を中心に、県管理道路の雑草が生えない対策を実施
- 観光地や危険個所にも着目し、草刈りなどを実施

④道路維持管理のDX(異常個所の早期発見)

身近なツールで写真・位置を送信可能にするなど、利用者の通報しやすさを向上。またドライブレコーダーのデータを活用するなど、道路状況確認の効率化を図る

- 舗装補修履歴の蓄積
- ドライブレコーダーを用いた異常箇所の発見
- SNS(LINE)による通信サービスを用いた異常箇所の発見

「令和6年度奈良県政策集」を基に作成

2024年度予算の要点はこちら ▶

建設委員会での活動報告

▶12月常任委員会

私からは以下の3項目について、質問を行いました。

- ☑ **御所高取バイパスの進捗状況について**
- ☑ **曽我川の治水対策について**
- ☑ **大和高田御所線の歩道整備について**

2023年度12月
建設委員会
質疑動画はこちら
▼

▶2月常任委員会

私からは以下の3項目について、質問を行いました。

- ☑ **土木技術職員確保に向けた奨学金制度** (2024年度新規事業)
  →高校生に対する制度周知の進め方について
- ☑ **御所高取バイパス今後のスケジュールについて**
- ☑ **自動運転等デジタル技術を活用した交通サービス検討事業**
  (2024年度新規事業)
  →大規模防災拠点(五條市)の県有地活用も見据えた事業展開の検討について

2023年度に検討が開始されました入札契約制度の改革については、
大きな方向性がまとまり、2024年6月から制度変更される見通しです。

2023年度
2月建設委員会
質疑動画はこちら ▶

県内活動

3月20日 桜井吉野線百市工区バイパス部分共用(420m)の開通式に出席しました。

桜井吉野線は中和地域と吉野地域をつなぐ幹線道路で、百市工区は奈良県道路整備基本計画の骨格道路ネットワークに位置付けられており、延長1.4kmのうち、吉野町側420mの部分供用が開始されます。事業の整備効果として救急救命活動支援、観光振興、地域産業支援、安全性の向上、緊急輸送道路ネットワーク機能強化が期待されております。

3月23日 国道168号線(五条新宮道路)阪本工区の開通式に出席しました。

五条新宮道路は紀伊半島アンカールートの一部を形成し、奈良県域では全線が第1次緊急輸送道路に指定されております。そのうち、阪本工区は五條市と十津川村をつなぐ区間に位置する延長1.4kmの道路整備事業であり、2014年から整備が進められ、開通の運びとなりました。事業の整備効果として道路ネットワーク強化、救急医療施設へのアクセス向上、県南部地域の観光活性化、走行性と安全性の向上が期待されております。

長きに渡り、地元の皆様や各地域の土木事務所をはじめ、本事業にご尽力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

ゲートボール大会

3月13日、御所市栗阪のゲートボール場にて、第2回川口杯ゲートボール大会が開催されました。朝から雨が強く降る寒い日でしたが、「この日が1番楽しみ。」と仰る方も多く、今回も皆様と一緒にプレイヤーとして参加しました。

優勝は2組の皆様です。前回大会に引き続き2連勝！メンバーは、堀川実様、峰野シゲ子様、吉井ミユキ様、今西美恵子様。おめでとうございます。

グラウンド・ゴルフ大会

4月4日、御所市民運動公園にて、第2回川口杯グラウンド・ゴルフ大会が開催されました。前日は大雨でしたが、当日は晴れ間が見える中、和気あいあいとグラウンド・ゴルフを楽しみました。

優勝：中元美喜雄様
準優勝：明神千代子様
第3位：中田勝久様
第4位：倉本信正様
第5位：吉村和義様